

第2回 令和4年度 「SAGAコラボレーション・スクール」
学校運営協議会（学校魅力化委員会） 議事録

1 日 時 令和4年7月26日（火）15時～16時30分

2 場 所 本校応接室

3 出席者 [委員] 川島雄輔、濱道正和、外尾敏枝、松田毅、山田健一郎、
早川加恵（オンライン）
[オブザーバー] 門脇亨平（アドバイザー）、大島恒平（県教委）
[学校] 下村昌弘、藤田和康、宮田健二、池田憲一、松尾洋明

4 主な内容

(1) 承認内容（令和5年度教科書検討委員会）

- ・令和5年度採用教科書について

(2) 協議内容（熟議）

「普通科としての唐津西高校の魅力づくりに向けて」

- ・以下のアンケートの結果を題材として

① 国の調査「青年に対する意識調査」でどの項目も低い値であったが、その中で西高生の意識が高いものとして「自分は責任ある社会の一員だと思う」「将来の夢を持っている」「解決したい社会問題がある」などが挙げられる。

➡（今後の対応）

- ・社会問題、地域の大人との関りを増やす → 生徒の成長につながる
- ・学校が地域に出向くだけでなく、学校の中にも地域を呼び込む

② 本校の保健だより「生活習慣アンケートの結果」で、学校生活や家庭生活について20～25%の生徒が不満を抱えている。

➡（今後の対応）学校としては満足度100%を目指す

- ・保護者、生徒が求めているものは、スクールポリシーで求めている生徒像なのか現状とあっているのかを精査しながら、スクールポリシーをブラッシュアップする
- ・ボランティア部が活躍しているので、地域の大人との関わりを増やしていく
- ・そういった関わりの多い学校ほど満足度が高く、生徒の成長につながっている
- ・制服、校則、イベントなど決める過程で、いろいろな人と関わり対話する

③ 「受験生が高校に期待すること」に係る資料より、「魅力ある高校とは」に対するキーワードとして「部活動に期待」、「生徒全員が仲良くしている」、「仲がいい」、「好きなことができる」、「夢に近づける」、「夢」、「将来の夢」などがある。

➡（今後の対応）

- ・部活動（運動部と文化部）を充実する
- ・ボランティア活動でいろいろな人と関わる機会を増やす